

平成27年度 東京藝術大学美術学部 科目等履修生(一般) 募集要項

特定の研究目的をもって、本学部開設科目の履修を希望する者に対して、授業及び研究に支障がない限り、本要項の定めるところにより、選考のうえ履修を許可する。

1. 出願資格及び履修範囲

- (1) 高等学校卒業以上の学歴を有する者。
 - (2) 前項と同等以上の学力があると大学が認めた者。
 - (3) 履修できる科目は、別紙開設科目のうち、2単位以上12単位以内に限る。
 - (4) 実技科目の履修は認めない。
- ※ 外国人志願者は、授業履修に支障のない日本語能力が必要である。

2. 募集人員 若干名

3. 選考方法 書類審査及び面接

4. 単位の認定 授業科目を履修し、所定の試験等を受け、合格した者には所定の単位を与える。
(同一科目の単位再加算はしない。)

5. 在籍期間 1年間（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

6. 出願方法等

① 出願方法	郵便受付のみ	
② 受付期間	平成26年11月25日(火)～平成26年12月15日(月) ※郵便局消印がこの期間内のもの。	
③ 提出書類	(1) 科目等履修生願書	本学部所定の用紙。
	(2) 最終学校の卒業証明書	本学部出身者は不要。
	※(3) 戸籍抄本1通(コピー可)	※ 改姓して証明書と現在の氏名が違う場合のみ提出。
	(4) 健康診断書	本学部所定用紙又は医療機関が発行する診断書で、所定の事項が記載されているもの。
	(5) 写真1枚	受付期間前3ヶ月以内に撮影したもの(縦4cm×横3cm)を願書所定欄に貼ること。
	(6) 小論文	履修希望科目ごとに研究の目的等を2,000字以内にまとめ、科目名、氏名を記載する。
	(7) 入学試験検定料振込金 受付証明書提出用紙	検定料振込後に銀行から返却される「C票」を貼付して提出(次項「7」参照)。
	(8) 返信用封筒	角型2号封筒に住所・氏名・郵便番号を明記し、140円切手を貼ったもの。
④ 出願手続	提出期限内に、『美術学部科目等履修生願書在中』と朱書し、書留郵便で送ること。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">【送付先】 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学 美術学部教務係</div>	
⑤ 面接	履修希望科目担当教員が、それぞれに定める面接日時(別紙参照)に各自集合のこと。	

7. 検定料の振込方法について

検定料：9,800円

この要項に添付されている検定料振込依頼書を使用し、下記の事項に従い、

平成26年11月25日(火)から平成26年12月15日(月)までに振り込むこと。

取扱金融機関	都市銀行, 信託銀行, 地方銀行, 信用金庫, 農業協同組合, ゆうちょ銀行(郵便局) ※金融公庫では振り込みできない。 ※ゆうちょ銀行(郵便局)での振り込みはゆうちょ銀行の口座からのみ可能。 詳しくは振り込みを依頼する店舗に問い合わせのこと。
振込手数料	振込手数料は各自負担のこと。 ※三井住友銀行・本支店から振り込む場合は無料。
<p>< 注意 > ① ATMでの振り込みはできない。金融機関窓口で納入すること。 ② 振り込みの際, 返却されたB票, C票のうち, C票(氏名記入, 収納印のあるもの)を「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」(15頁)に貼付して提出。 (B票は本人控え)</p>	

8. 履修の決定及び入学手続

履修の可否及び入学手続については、3月中に大学から文書で通知する。

入学手続	4月上旬予定		
納入金	入学手続時	入学料	28,200円 (入学手続後は、入学料の返還はしない)
	入学後	授業料	1単位につき14,800円 (例;1科目2単位の場合/14,800円×2=29,600円)
<p>※ その他の提出書類等については、大学からの通知文で指示する。 ※ 科目によっては、曜日・時限・テーマ等が変更されることがあるので、必ず履修科目を再確認すること。</p>			

9. 注意事項

- ・願書受付後はいかなる理由があっても書類の変更・返還はしない。
また次の場合を除き、いかなる理由があっても振り込み済みの検定料は返還しない。

- ①検定料を振り込んだが、本学に出願しなかった(願書を提出しなかった、または願書が受理されなかった)場合。
- ②検定料を誤って二重に振り込みした場合。

<上記①②に該当した場合の返還請求の方法>

便せん等を使用し、下記①～⑦の項目について記入した「検定料返還請求願」を作成し、「C票」を添付して、東京藝術大学会計課経理係（〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8）まで郵送にて請求のこと。

①氏名、②住所、③電話番号、④受験予定の専攻・研究分野、⑤金額、⑥返還請求の理由
⑦振込先（銀行名・支店名・普通口座／当座口座の別・口座名義(カタカナ)・口座番号)

※大学から志願者への返還金額は振込手数料を差し引いた額になる。

※返還請求願受領後、返還金の振込まで通常約1ヶ月を要する。

※志願者本人が銀行口座を持っておらず、保護者等の口座に返還を希望する場合は、必ずその旨を書いた 委任状 を返還請求願と一緒に送付のこと。

- ・この募集要項発行後に納入金額が変更された場合は、変更後の額による。
- ・平成27年度の時間割編成に伴い、科目によっては時間割等が変更される場合があるので、
手続時に確認すること。
- ・履修を許可された科目でも、事情により履修ができない場合は、履修生の申し出により、
これを取り消すことができる。ただし、**納入済みの授業料等の返還はしない**。
- ・外国人については、履修が認められても「留学」の在留資格には該当しないので注意すること。
- ・学生旅客運賃割引制度は適用されない。
- ・成績証明書の発行は申請のあった場合とし、履修後の3月31日以降となる。

以 上

【お問合せ】
TEL 050-5525-2122
東京藝術大学 美術学部教務係

平成27年度 東京藝術大学美術学部
科目等履修生(一般) 願 書

フリガナ						男・女	【写真貼付】 ・タテ4cm×ヨコ3cm ・脱帽上半身正面向 ・3ヶ月以内に撮影したもの
氏 名							
生年月日	昭和 平成	年	月	日	(満 歳)		
本籍地 (県名・国名)							
現住所 (連絡先)	〒 —						
携帯TELもしくはTEL			e-mail				
略 歴							
★本学出身者 在学時学生番号	学部		修士		博士		
学 歴 (高校卒業から)							
職 歴							
賞 罰							

履修希望科目							※大学記入欄
科目名	期間	曜日	時限	担当教員名	単位	備考	判 定
	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期						
	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期						
	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期						
	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期						
	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期						
	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期						

※ 該当する期間に☑を記入してください。

以上の記載事項に相違ありません。

平成 年 月 日 氏 名 :



健康診断書

※出願前, 3ヶ月以内に証明したもの

氏名: _____

視力		聴力		結核 (胸部X線検査)	その他の疾病及び異常
左	右	左	右		

診断の結果, 上記のとおり相違ないことを証明する。

平成 年 月 日

住所(所在地)

医療機関名

医 師 名 (印)

★本学卒業者のうち平成26年4月に本学の定期健康診断を受けたものは, 診断書の提出は不要。

(以下 大学記入)

【 所 見 】

教員名	(印)
教員名	(印)
教員名	(印)

平成27年度科目等履修生(一般)
対象科目講義概要一覧

【上野校地開設】

科目名	西洋建築史 I	担当教員	野口 昌夫
<p><授業テーマ> 古代ギリシア、ローマの壮大な建築の基準となっていたオーダーがルネッサンス期以降になって再び力強く継承され、古典建築の言語体系が再構成されていく過程をバロック期まで見届ける。一方、キリスト教聖堂建築の流れとして、初期キリスト教建築とビザンティン建築からプレロマネスク、そして1000年以降のロマネスク、ゴシックに至る過程を追う。ルネッサンス建築以降は、その主流をなすイタリア建築に重点を置き、ブルネレスキ、アルベルティ、ミケロツォから、ブラマンテ、ミケランジェロを経て、マニエリスム期のパラディオとジュリオ・ロマーノ、そしてバロック期のボロミーニ、ベルニーニ、ガッリーニに至る作品を概観する。</p>			

科目名	西洋建築史 II	担当教員	野口 昌夫
<p><授業テーマ> 古代ギリシア、ローマの壮大な建築の基準となっていたオーダーがルネッサンス期以降になって再び力強く継承され、古典建築の言語体系が再構成されていく過程をバロック期まで見届ける。一方、キリスト教聖堂建築の流れとして、初期キリスト教建築とビザンティン建築からプレロマネスク、そして1000年以降のロマネスク、ゴシックに至る過程を追う。ルネッサンス建築以降は、その主流をなすイタリア建築に重点を置き、ブルネレスキ、アルベルティ、ミケロツォから、ブラマンテ、ミケランジェロを経て、マニエリスム期のパラディオとジュリオ・ロマーノ、そしてバロック期のボロミーニ、ベルニーニ、ガッリーニに至る作品を概観する。</p>			

科目名	日本・東洋建築史 I	担当教員	光井 渉
<p><授業テーマ> 江戸時代以前に日本列島で展開した建築と都市・集落について概観します。 講義はおおむね時代順に沿ったテーマを各回毎に設定し、社会的・技術的な背景と共に代表的な建築作品等を紹介していきます。</p> <p>◆ 各回の内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本の建築(ガイダンス)／○建築の誕生(原始住居)／○美意識の誕生(神社建築) ○技術と空間(飛鳥奈良時代の寺院建築1)／○空間の大型化と建築群(飛鳥奈良時代の寺院建築2) ○都市建築の理念(平城京と平安京)／○都市住宅の原形(御所と寝殿造) ○和様の感覚(平安時代の建築)／○災害と復興(重源と大仏様)／○禅宗の建築(禅宗様) ○中世的世界の建築(密教建築) 			

科目名	日本・東洋建築史 II	担当教員	光井 渉
<p><授業テーマ> 江戸時代以前に日本列島で展開した建築と都市・集落について概観します。 講義はおおむね時代順に沿ったテーマを各回毎に設定し、社会的・技術的な背景と共に代表的な建築作品等を紹介していきます。</p> <p>◆ 各回の内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○舗設から部屋へ(中世住宅)／○もてなしの空間(座敷飾りと書院造) ○綺麗と数寄(茶室・数寄屋)／○戦乱と惣構(中世京都)／○権力の象徴(城郭建築) ○現代都市の誕生(城下町)／○町に暮らす(町並と町家)／○村に暮らす(農村と農家) ○専用住居の誕生(武家住宅)／○賑わいの空間(近世寺社境内) 			

平成27年度科目等履修生(一般)
対象科目講義概要一覧

科目名	美学演習 I	担当教員	松尾 大
<p><授業テーマ> 美学に関する英文のテキストを読みます。テキストの正確な理解と、テキストが含意、触発する問題についての思考とを練習します。</p>			

科目名	美学演習 II	担当教員	松尾 大
<p><授業テーマ> 美学に関する英文のテキストを読みます。テキストの正確な理解と、テキストが含意、触発する問題についての思考とを練習します。</p>			

科目名	芸術学演習 I	担当教員	松尾 大
<p><授業テーマ> 芸術についてのテキストの読解と、芸術についての作文の練習をします。 いずれに比重を置くかは参加者の意向を配慮して決めます。</p>			

科目名	美学特講 I	担当教員	川瀬 智之
<p><授業テーマ> 芸術は、制作の場面においても、鑑賞や参加の場面においても、もっぱら感性的な営みであるかのように思われる。 しかし芸術には、意識的であれ無意識的であれ、つねに思想、理論が伴っている。 本授業では、主に20世紀以降のフランスやアメリカ、日本などにおける、とりわけ美術や文学に関して展開された思想や理論をとりあげ、その内容を紹介するとともにそれがいかなる意義や問題を含むものであるかについて論じる予定である。 ※美学特講IIとは授業内容が異なる。</p>			

科目名	美学特講 II	担当教員	川瀬 智之
<p><授業テーマ> 芸術は、制作の場面においても、鑑賞や参加の場面においても、もっぱら感性的な営みであるかのように思われる。 しかし芸術には、意識的であれ無意識的であれ、つねに思想、理論が伴っている。 本授業では、主に20世紀以降のフランスやアメリカ、日本などにおける、とりわけ美術や文学に関して展開された思想や理論をとりあげ、その内容を紹介するとともにそれがいかなる意義や問題を含むものであるかについて論じる予定である。 ※美学特講Iとは授業内容が異なる。</p>			

平成27年度科目等履修生(一般)
対象科目講義概要一覧

科目名	日本美術史特講 I	担当教員	佐藤 道信
<p><授業テーマ> 「日本画」「日本美術」「日本美術史」</p> <p><授業計画及び内容> 「外来文化の受容と独自の変容」によって、日本の美術は形成された。これは間違いではありませんが、カッコ内の状況は、日本限定というよりどの国の美術でも、大なり小なり起こっていることです。ここで注目すべきは、むしろどのようにそれを性格づけ、意義づけようとしてきたのかという、自己認識の方法論、実態と言説化の関係論だと思われます。国際性と固有性の間を揺れ動いてきた、自国美術の解釈論(認識論)について、確認してみたいと思います。</p> <p>・「日本画」とは何か：相対的自己定位 大和絵と唐絵、和画と漢画 / 日本画と西洋画 / 国画と日本画</p>			

科目名	日本美術史特講 II	担当教員	佐藤 道信
<p><授業テーマ> 「日本画」「日本美術」「日本美術史」</p> <p><授業計画及び内容> 「外来文化の受容と独自の変容」によって、日本の美術は形成された。これは間違いではありませんが、カッコ内の状況は、日本限定というよりどの国の美術でも、大なり小なり起こっていることです。ここで注目すべきは、むしろどのようにそれを性格づけ、意義づけようとしてきたのかという、自己認識の方法論、実態と言説化の関係論だと思われます。国際性と固有性の間を揺れ動いてきた、自国美術の解釈論(認識論)について、確認してみたいと思います。</p> <p>・「日本美術」「日本美術史」 一国美術と広域美術 / 歴史化の要件 / 美術史展示 / “日本美術の特質”論 外国文化理解 - モノ媒体と人媒体 / 自立と他立の自画像</p>			

科目名	西洋美術史概説 II	担当教員	越川 倫明
<p><授業テーマ> 授業内容は、西洋美術の流れを概観するもので、14～17世紀のイタリア美術を中心に、各時代の表現の特質を主として様式的観点から理解することを目的とします。</p>			

科目名	西洋美術史概説 III	担当教員	佐藤 直樹
<p><授業テーマ> 授業内容は、西洋美術の流れを概観するもので、北方(アルプス以北)の15世紀から19世紀の美術を中心に、各時代の表現の特質を主として様式的観点から理解することを目的とします。</p>			

平成27年度科目等履修生(一般)
対象科目講義概要一覧

【取手校地開設】

科目名	美術解剖学A-I(取手)	担当教員	宮永 美知代
<p><授業テーマ> 人体の外形と内部構造の関心の学びは、ルネサンス以降美術に不可欠な素養とされてきた。 美術表現が多様化した現在も、人が生みだすかたちは本質的にヒトとしての身体感に起因する。 人のかたちと動きの学びを通して、各自の造形表現を深め、自らのものの見方を広げてゆく。 内容は、人体の運動機構(骨格と筋)を柱とし、かたちの由来、動きに伴う変化、さらに、 造形表現された人体像の美性について論じる。</p>			

科目名	美術解剖学A-II(取手)	担当教員	宮永 美知代
<p><授業テーマ> 人体の外形と内部構造の関心の学びは、ルネサンス以降美術に不可欠な素養とされてきた。 美術表現が多様化した現在も、人が生みだすかたちは本質的にヒトとしての身体感に起因する。 人のかたちと動きの学びを通して、各自の造形表現を深め、自らのものの見方を広げてゆく。 内容は、人体の運動機構(骨格と筋)を柱とし、かたちの由来、動きに伴う変化、さらに、 造形表現された人体像の美性について論じる。</p>			

平成27年度 科目等履修生(一般)
対象開設予定科目及び面接日時

◆ 上野校地開設

科 目 等						面 接			
授 業 科 目 名	期 間	担 当 教 員	曜 日	時 限	単 位	日 時	場 所	備 考	
西洋建築史 I	前期	野口 昌夫	月	Ⅲ	2	1月9日(金) 16:30～	野口研究室	西洋建築史 I と 西洋建築史 II を 併せて履修すること	
							総合工房棟 4階 B-411 室		
西洋建築史 II	後期	野口 昌夫	月	Ⅲ	2	1月9日(金) 16:30～	野口研究室		
							総合工房棟 4階 B-411 室		
日本・東洋建築史 I	前期	光井 渉	金	Ⅲ	2	1月15日(木) 10:00～	光井研究室		日本・東洋建築史 I と 日本・東洋建築史 II を 併せて履修すること
							総合工房棟 4階 B-412 室		
日本・東洋建築史 II	後期	光井 渉	金	Ⅲ	2	1月15日(木) 10:00～	光井研究室		
							総合工房棟 4階 B-412 室		
美学演習 I	前期	松尾 大	金	Ⅲ	2	1月9日(金) 11:00～	松尾研究室		
							中央棟 3階		
美学演習 II	後期	松尾 大	金	Ⅲ	2	1月9日(金) 11:00～	松尾研究室		
							中央棟 3階		
芸術学演習 I	前期	松尾 大	水	Ⅱ	2	1月9日(金) 11:00～	松尾研究室		
							中央棟 3階		
美学特講 I	前期	川瀬 智之	月	Ⅴ	2	1月 5日(月) 14:30～	川瀬研究室		
							中央棟 3階		
美学特講 II	後期	川瀬 智之	月	Ⅴ	2	1月 5日(月) 14:30～	川瀬研究室		
							中央棟 3階		
日本美術史特講 I	前期	佐藤 道信	火	Ⅲ(仮)	2	1月 9日(金) 10:30～	佐藤研究室		
							中央棟 3階		
日本美術史特講 II	後期	佐藤 道信	火	Ⅲ(仮)	2	1月 9日(金) 10:30～	佐藤研究室		
							中央棟 3階		

平成27年度 科目等履修生(一般)
対象開設予定科目及び面接日時

◆ 上野校地開設

科 目 等						面 接		
授 業 科 目 名	期 間	担 当 教 員	曜 日	時 限	単 位	日 時	場 所	備 考
西洋美術史概説 Ⅱ	前期	越川 倫明	火	Ⅲ	2	1月13日(火) 18:00～	西洋美術史研究室	
							中央棟 3階	
西洋美術史概説 Ⅲ	後期	佐藤 直樹	火	Ⅲ	2	1月13日(火) 18:00～	西洋美術史研究室	
							中央棟 3階	

◆ 取手校地開設

科 目 等						面 接		
授 業 科 目 名	期 間	担 当 教 員	曜 日	時 限	単 位	日 時	場 所	備 考
美術解剖学A-I (取手)	前期	宮永 美知代	水	Ⅱ	2	1月29日(木) 14:00～15:00	美術教育 (美術解剖学Ⅱ研究 室)	美術解剖学A-I と美術 解剖学A-II を併せて 履修することが望ましい が、 美術解剖学A-I のみ 履修することも可。
							※上野校地※ 中央棟4F 406号	
美術解剖学A-II (取手)	後期	宮永 美知代	水	Ⅱ	2	1月29日(木) 14:00～15:00	美術教育 (美術解剖学Ⅱ研究 室)	美術解剖学A-II は、A -I を履修した者に限 る。
							※上野校地※ 中央棟4F 406号	

《面接について》

※願書提出後、上記の指定日時に面接を必ず受けること。

※面接を受けない場合は失格とし、納入済みの検定料も返却しない。

【授業時間】

上野校地 : I 限 9:00～10:30 II 限 10:40～12:10 III 限 13:00～14:30 IV 限 14:40～16:10 V 限 16:20～17:50

取手校地 : I 限 9:30～11:00 II 限 11:10～12:40 III 限 13:30～15:00 IV 限 15:10～16:40 V 限 16:50～18:20

【教室場所】

上野校地 : 美術学部中央棟 1, 2階 , 総合工房棟B棟

取手校地 : 専門教育棟

※ 授業時間割・講義内容等は予定であり、科目によっては、曜日・時限等が変更される場合もあるので、
入学手続き時に必ず確認すること。この際、履修を許可された科目でも事情により履修ができない場合は、
履修生の申し出により、これを取り消すことができる。

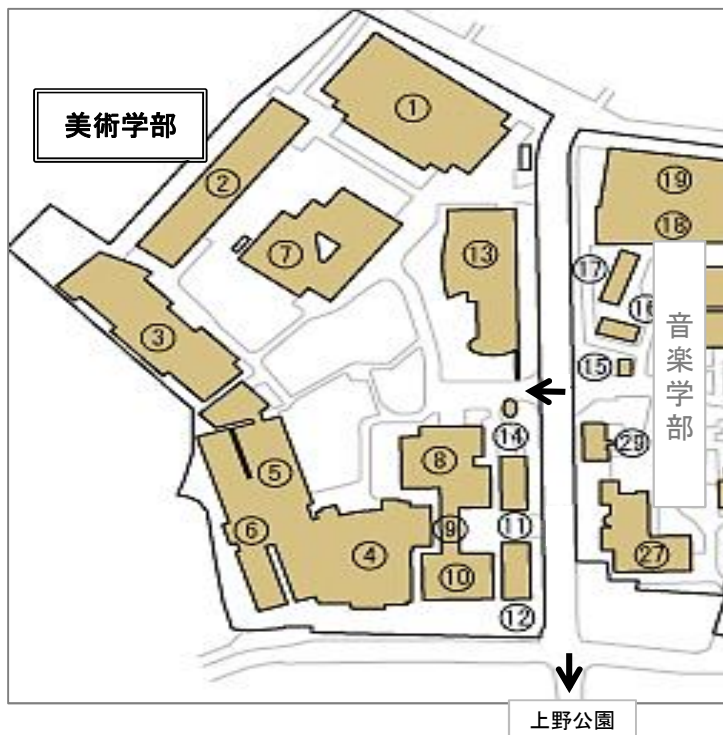


交通機関

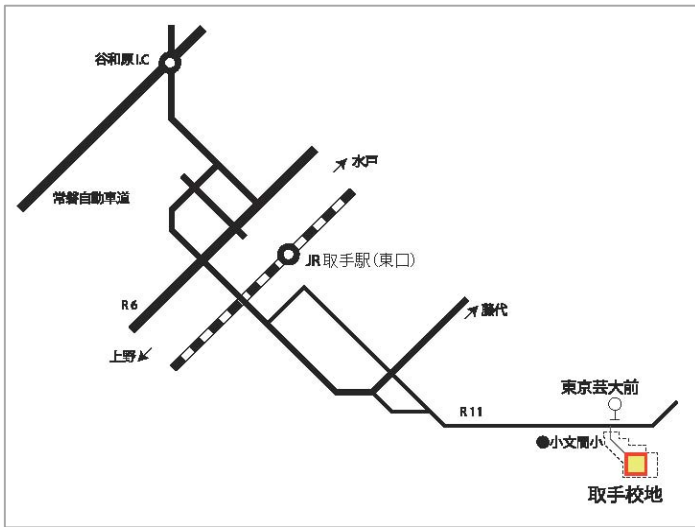
【 J R 】 上野駅・鶯谷駅 …下車徒歩10分

【地下鉄】 銀座線・日比谷線 …上野駅下車徒歩15分、千代田線 …根津駅下車徒歩10分

【京成電鉄】 京成上野駅 …下車徒歩15分



- ① 絵画棟
- ② 彫刻棟
- ③ 金工棟
- ④ 総合工房棟(A棟)
- ⑤ 総合工房棟(B棟)
- ⑥ 総合工房棟(C棟)
- ⑦ 中央棟
- ⑧ 付属図書館
- ⑨ 芸大アートプラザ
- ⑩ 旧芸大美術館
- ⑪ 陳列館
- ⑫ 正木記念館
- ⑬ 大学美術館
- ⑭ 守衛所

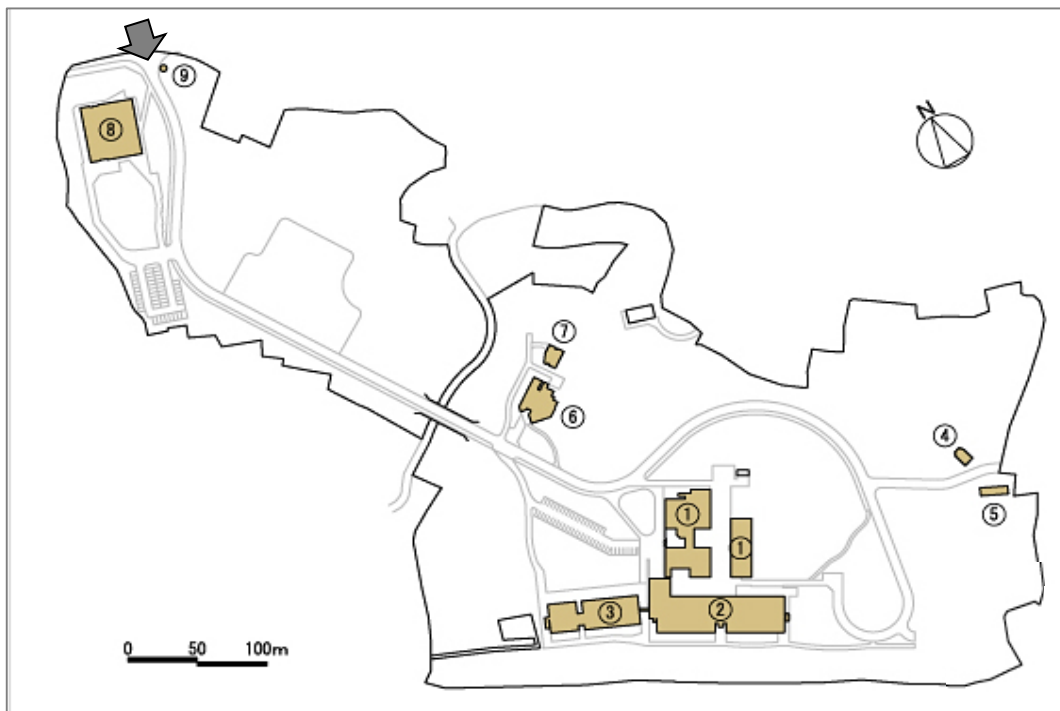
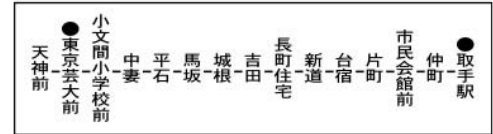


◆JR常磐線
上野駅→取手駅 (40分)

◆取手駅より (取手駅東口バス乗り場)

・スクールバス : 15分

・大利根交通バス : 15分
「取手駅」→「東京藝大前」下車



- ①美術学部共通工房棟
- ④美術学部登窯
- ⑦短期宿泊施設
- ②美術学部専門教育棟
- ⑤野外制作場
- ⑧大学美術館取手館
- ③メディア教育棟
- ⑥福利施設
- ⑨守衛所